

## 伝統を受け継ぐ「紳士」たち

2008年もの時間を脈々と受け継いできた修道魂。先輩たちが築いてきた伝統と歴史をどう感じているのか、そしてこれから後輩たちへどう渡していくのか。三人の「修道紳士」たちが今の修道を語ります。

イベントを盛り上げる先輩たちに、ひかれた。

小学5年生、6年生の時に、修道の文化祭の見学に来ました。先輩たちが率先して参加し、楽しんでいる様子を見て、この学校に絶対入りたかったと思います。また、班活動も盛んだと聞いていたので、「中学・高校ではクラブ活動で思いっきり汗を流したい!」とっていた自分の考えに合うのも魅力でした。修道は、曾祖父の母校でもあります。生まれた時には亡くなっていましたが、いま、同じ学校に通っていることで、この学校の伝統や歴史を感じています。

工藤 宏介くん ■初級2年/バスケットボール班



あなたの思う紳士の条件は

班活動などがあって忙しかったり、疲れていても、決めたことをやり遂げる、信念のある人

他校の友達の話聞いても修道は自由だなと感じます。その一つが制服の制度だと思います。初級ではシャツやネクタイすべてが決まっているけれど、中級になるとネクタイやシャツが自由に選べ、上級では私服もOK。学年によって自由度が増すっていうのは、自分たちを信用してもらっているのかなとうれしく思います。

中級なので受験もなくプレッシャーが少ない分、班活動や、行事などに全力で取り組み、学校生活を充実させたいと思います。

島本 侑暉くん ■中級4年/陸上班



あなたの思う紳士の条件は

今の自分の立場なら「勉強」「班活動」「交友関係」「行事」など、全てのこと全力で取り組む人

他校にはない自由な校風があります。

中学受験では何校が合格した中で、文化祭が一番盛り上がり、明るく楽しそうな修道を選びました。入学して実際に行事の準備になると、みんなが全力で取り組む雰囲気が出て来上がります。男子校だから取りつくりとこころがないのもその理由だと思いますが、学年が上がるほど熱心で、これが伝統かと思うところです。

今年は受験の年になりますが、班活動も行事も最後まで取り組むことでメリハリがつき、受験勉強に集中できるのだと思います。

長江 悠介くん ■上級6年/柔道班



あなたの思う紳士の条件は

自分の意志を貫くことができる人。誰とも分け隔てなく仲良くできる人

班活動も、行事も、最後まで取り組む。